

# DMA T

## 【DMA T (災害派遣医療チーム)】

- ・厚生労働省により発足した災害医療チーム。
- ・大災害や多数傷病者が発生した事故などの現場におおむね48時間以内から活動する機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チーム。
- ・医師1人・看護師2人・業務調整員1～2人(薬剤師・放射線技師・事務職員など)の4～5人を基本として構成される。
- ・主に災害拠点病院に所属している。
- ・現場での緊急治療・トリアージ・傷病者の搬送・病院支援を行う。

## 【災害拠点病院】

- ・災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する。
- ・災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行なうための高度の診療機能を有する。
- ・被災地からのとりあえずの重症傷病者の受入れ機能を有する
- ・災害拠点病院は都道府県内で大規模な事故・事件等が発生し、消防機関等からの連絡や情報収集等から現地医療救護活動が必要と判断した場合にはDMA Tを派遣する。

## 【JMAT (日本医師会災害医療チーム)】

- ・日本医師会が編成する災害医療チーム。
- ・被災地の医療体制が整備されるまで、避難所や救護所における医療・被災地の病院や診療所における日常診療への支援を行う。

## 【DPAT (災害派遣精神医療チーム)】

- ・厚生労働省により発足した災害医療チーム。
- ・自然災害・航空機事故・列車事故・犯罪事件などの集団災害の後、被災地域で精神医療及び精神保健活動の支援を行う。

## 【TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)】

- ・国土交通省により発足した部隊。
- ・被災地自治体が行う被災状況の迅速な把握・被害拡大の防止・被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施する。

## 【リエゾン (災害対策現地情報連絡員)】

- ・大規模災害の発生時に災害情報等の情報収集・連絡調整を行うため、各機関から被災自治体へ派遣される連絡員。